



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月3日

上場会社名 日本金銭機械株式会社

上場取引所 東大

コード番号 6418 URL <http://www.jcm-hq.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上東 洋次郎

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部副本部長 (氏名) 高垣 豪

TEL 06-6703-8400

四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	5,221	9.6	127	△57.8	163	△37.1	112	△58.0
23年3月期第1四半期	4,765	11.3	301	59.1	260	12.4	267	75.1

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 421百万円 (220.7%) 23年3月期第1四半期 131百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	4.17	—
23年3月期第1四半期	9.92	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭		
24年3月期第1四半期	27,952		22,658	81.1	839.81			
23年3月期	27,886		22,426	80.4	831.19			

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 22,658百万円 23年3月期 22,426百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	7.00	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,400	7.7	310	57.7	440	525.0	250	—	9.27
通期	20,800	4.2	680	26.1	900	74.1	650	△2.5	24.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ー社 (社名) 、 除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 有

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、3ページ 2. サマリー情報(その他)に関する事項をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期1Q	29,662,851 株	23年3月期	29,662,851 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期1Q	2,682,252 株	23年3月期	2,682,183 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	26,980,562 株	23年3月期1Q	26,981,218 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料の3ページをご参照下さい。

添付資料の目次

1 . 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2 . サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3 . 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第 1 四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第 1 四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（平成23年4月1日～平成23年6月30日）における世界経済は、新興成長国では前期に引き続き成長が継続したものの、米国では足踏み状態が続き、また欧州では財政危機の深刻化が顕著となるなど、鈍化の傾向が鮮明になりつつあります。さらに、国内では、東日本大震災が経済成長に甚大な影響を与えるなど、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く環境につきましては、海外ゲーミング市場では、北米の景気回復の遅れや、欧州での規則改正需要の終息などにより、本格的な販売回復には至りませんでした。一方、国内遊技場向市場では、震災直後には需要の減退などの影響がありましたが、その後は復旧に向けた動きが見られます。このような状況のもと、当社では、新製品の市場での浸透を図るとともに、従前より進めております経営改善策の一環として、当期より海外事業におけるグループ内取引の見直しを実施いたしました。なお、震災発生直後に顕在化した部材供給への懸念については、現時点ではほぼ解消いたしました。

以上の結果、第1四半期連結累計期間における売上高は、国内遊技場向市場での増加などにより52億21百万円（前年同四半期比9.6%増）となりました。

一方、利益面では、為替の円高による影響等により、営業利益は1億27百万円（前年同四半期比57.8%減）、経常利益は1億63百万円（前年同四半期比37.1%減）、四半期純利益は1億12百万円（前年同四半期比58.0%減）となりました。

なお、当第1四半期の為替レートは、米ドル82.33円（前年同四半期は90.75円）、ユーロは113.77円（前年同四半期は123.71円）で推移いたしました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

日本金銭機械

海外事業におけるグループ内取引の見直しに伴い、当連結会計年度から従前の海外子会社向けの売上高の計上が大幅に縮小いたしました。この結果、当セグメントの売上高は22億47百万円（前年同四半期比35.1%減）となり、セグメント利益は1億26百万円の損失計上（前年同四半期は1億6百万円の利益計上）となりました。

遊技場向機器事業

震災復旧への取り組みに加え、パチスロコーナーの人气が回復基調にあり、関連設備機器の売上高が伸張したことから、当セグメントの売上高は22億37百万円（前年同四半期比23.5%増）、セグメント利益は84百万円（前年同四半期は58百万円の損失計上）となりました。

北米地域

新製品の上市など、市場の活性化を図りましたが、景気回復の遅れの他、為替の円高による影響もあり、当セグメントの売上高は14億35百万円（前年同四半期比3.9%減）、セグメント利益は37百万円（前年同四半期比1.1%減）となりました。

欧州地域

ドイツにおける規則改正に伴う設備の更新期限を迎えたため、買替需要が低下しましたが、北欧での販売が伸張したことなどから、当セグメントの売上高は12億53百万円（前年同四半期比10.7%増）、セグメント利益は1億77百万円（前年同四半期比77.2%増）となりました。

アジア地域

当セグメントは、当社グループの生産機能を担っております。また、当期より、中国国内向けの販売活動をスタートいたしました。実績としては僅かに留まっております。これらにより、セグメントの売上高は11億63百万円（前年同四半期比7.1%減）、セグメント利益は17百万円（前年同四半期比56.8%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は279億52百万円となり、前連結会計年度末に比べ66百万円増加いたしました。新製品の量産化により「仕掛品」、「原材料及び貯蔵品」がそれぞれ増加しました。

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は52億94百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億66百万円減少いたしました。新製品の量産に伴う部材の需要増加等により「支払手形及び買掛金」が増加した一方で、法人税等の支払並びに夏季賞与の支給により「未払法人税等」、「賞与引当金」がそれぞれ減少しました。

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は226億58百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億32百万円増加いたしました。主に、為替換算調整勘定が増加したことによりです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結累計期間では、税金等調整前四半期純利益1億59百万円、減価償却費1億48百万円、売上債権の減少2億82百万円などによる資金の増加があった一方で、引当金の減少1億56百万円、法人税等の支払2億3百万円などによる資金の減少がありましたので、営業活動によるキャッシュ・フローは、3億20百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローでは、有形固定資産の取得等がありましたので、1億46百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローでは、配当金の支払等がありましたので、1億32百万円の支出となりました。

このほか、現金及び現金同等物に係る換算差額1億26百万円の資金の増加がありました。これらの結果、現金及び現金同等物は前連結会計年度末に比べ、1億68百万円増加し、83億19百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成23年5月12日付決算短信の発表値からの変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(固定資産の減価償却方法の変更)

当社は工具・工具金型の減価償却方法について、従来、定率法によっておりましたが、製品の生産サイクルの長期化によって、工具・工具金型の使用が長期平準化していること及び商流変更に伴い、よりグローバルな経営展開の比重が高まったことから、工具・工具金型が実際に使用されている割合の高い在外連結子会社の償却方法に統一することが適切であると判断し、当第1四半期連結会計期間より将来にわたり定額法に変更しております。

これにより、第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ17,012千円増加しております。

(耐用年数の変更)

当社が保有する工具・工具金型について、従来、工具の耐用年数を3年、工具金型の耐用年数を2年(少額固定資産は1年)として減価償却を行ってきましたが、商流変更に際して生産機能や使用実績の見直し等を行なったところ、工具・工具金型の耐久性の向上、使用実績の長期化の事実により、当初予定による耐用年数と現在以降の経済的使用予測期間との間に乖離が生じていることが明らかになったため、当第1四半期連結会計期間より工具・工具金型の耐用年数を5年に見直し、将来にわたり変更しております。

これにより、第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ17,977千円増加しております。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

当第1四半期連結累計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,925,678	9,162,108
受取手形及び売掛金	4,461,467	4,251,209
有価証券	186,482	129,623
商品及び製品	3,318,419	2,980,227
仕掛品	482,973	679,544
原材料及び貯蔵品	2,532,977	2,703,266
その他	1,180,089	1,047,005
貸倒引当金	85,789	93,245
流動資産合計	21,002,299	20,859,740
固定資産		
有形固定資産	4,940,168	4,981,023
無形固定資産	330,602	279,178
投資その他の資産		
その他	1,860,615	2,079,655
貸倒引当金	247,099	246,872
投資その他の資産合計	1,613,516	1,832,782
固定資産合計	6,884,287	7,092,984
資産合計	27,886,586	27,952,724
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,567,235	2,813,690
未払法人税等	207,268	69,792
役員賞与引当金	23,500	-
賞与引当金	261,467	121,232
その他	1,414,610	1,309,430
流動負債合計	4,474,082	4,314,146
固定負債		
退職給付引当金	20,246	21,100
負ののれん	208,319	160,245
その他	757,785	798,779
固定負債合計	986,351	980,125
負債合計	5,460,434	5,294,272

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,216,945	2,216,945
資本剰余金	2,069,003	2,068,980
利益剰余金	23,159,174	23,082,811
自己株式	2,325,734	2,325,765
株主資本合計	25,119,389	25,042,971
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,729	33,401
繰延ヘッジ損益	397	375
為替換算調整勘定	2,705,364	2,418,296
その他の包括利益累計額合計	2,693,236	2,384,519
純資産合計	22,426,152	22,658,452
負債純資産合計	27,886,586	27,952,724

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第 1 四半期連結累計期間)

(単位 : 千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月30日)
売上高	4,765,356	5,221,778
売上原価	2,307,429	3,200,930
売上総利益	2,457,927	2,020,847
割賦販売未実現利益戻入額	10,611	13,099
割賦販売未実現利益繰入額	64,859	23,875
差引売上総利益	2,403,679	2,010,071
販売費及び一般管理費	2,102,579	1,882,936
営業利益	301,099	127,135
営業外収益		
受取利息	7,475	7,170
受取配当金	16,029	11,535
負ののれん償却額	48,073	48,073
その他	36,195	7,877
営業外収益合計	107,775	74,657
営業外費用		
支払利息	4,742	5,970
為替差損	138,945	23,672
その他	4,999	8,397
営業外費用合計	148,687	38,040
経常利益	260,187	163,752
特別利益		
固定資産売却益	94	-
投資有価証券売却益	121,955	-
貸倒引当金戻入額	11,423	-
特別利益合計	133,473	-
特別損失		
固定資産除却損	3,808	1,783
投資有価証券評価損	27,173	2,368
固定資産売却損	66	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	3,528	-
特別損失合計	34,577	4,151
税金等調整前四半期純利益	359,083	159,600
法人税、住民税及び事業税	31,967	58,196
法人税等調整額	59,526	11,097
法人税等合計	91,493	47,098
四半期純利益	267,590	112,501

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
四半期純利益	267,590	112,501
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	107,337	21,671
繰延ヘッジ損益	53,762	22
為替換算調整勘定	82,668	287,068
その他の包括利益合計	136,243	308,717
四半期包括利益	131,347	421,218
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	131,347	421,218
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	359,083	159,600
減価償却費	202,912	148,637
負ののれん償却額	48,073	48,073
引当金の増減額(は減少)	101,409	156,808
事業構造改善引当金の増減額(は減少)	264,713	-
受取利息及び受取配当金	23,505	18,705
支払利息	4,742	5,970
為替差損益(は益)	44,667	10,324
有形固定資産除売却損益(は益)	3,780	1,783
投資有価証券売却損益(は益)	121,955	-
投資有価証券評価損益(は益)	27,173	2,368
売上債権の増減額(は増加)	365,078	282,524
たな卸資産の増減額(は増加)	1,188,171	84,217
仕入債務の増減額(は減少)	864,392	145,370
未収消費税等の増減額(は増加)	38,760	148,922
その他	342,012	253,695
小計	225,382	512,436
利息及び配当金の受取額	23,587	18,081
利息の支払額	4,742	5,970
法人税等の支払額	2,392	203,725
営業活動によるキャッシュ・フロー	208,929	320,821
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(は増加)	927,825	-
有価証券の純増減額(は増加)	138,074	544
有形固定資産の取得による支出	305,812	141,865
有形固定資産の売却による収入	525	42
無形固定資産の取得による支出	7,674	4,063
投資有価証券の取得による支出	358	515
投資有価証券の売却による収入	354,320	-
貸付金の回収による収入	11,251	529
その他	50	100
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,013,697	146,317
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	189,239	189,136
リース債務の増加による収入	246,125	91,778
リース債務の返済による支出	22,529	35,225
自己株式の取得による支出	117	106
自己株式の売却による収入	-	52
財務活動によるキャッシュ・フロー	34,238	132,637

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
現金及び現金同等物に係る換算差額	94,146	126,732
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	1,282,535	168,599
現金及び現金同等物の期首残高	11,193,347	8,150,518
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,910,812	8,319,118

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント					合計
	日本金銭機械	遊技場向機器事業	北米地域	欧州地域	アジア地域	
売上高						
外部顧客への売上高	378,280	1,754,094	1,483,683	1,119,811	29,487	4,765,356
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,085,446	57,519	10,396	12,467	1,223,879	4,389,709
計	3,463,727	1,811,614	1,494,079	1,132,278	1,253,366	9,155,066
セグメント利益又は損失()	106,624	58,876	37,681	100,306	41,446	227,182

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

利益	金額
報告セグメント計	227,182
未実現利益の消去	27,472
負ののれん償却額	48,073
全社収益	16,092
その他の調整額	3,688
四半期連結損益計算書の経常利益	260,187

(注) 全社収益は、主に報告セグメントに帰属しない営業外損益であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント					合計
	日本金銭機械	遊技場向機器事業	北米地域	欧州地域	アジア地域	
売上高						
外部顧客への売上高	337,609	2,185,896	1,398,253	1,249,761	50,257	5,221,778
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,910,000	51,999	37,046	3,372	1,113,722	3,116,141
計	2,247,609	2,237,895	1,435,299	1,253,134	1,163,980	8,337,919
セグメント利益又は損失()	126,127	84,146	37,269	177,727	17,889	190,904

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	190,904
未実現利益の消去	79,879
負ののれん償却額	48,073
全社収益	12,439
その他の調整額	7,785
四半期連結損益計算書の経常利益	163,752

（注）全社収益は、主に報告セグメントに帰属しない営業外損益であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。